

アンケート調査自由記述概要

熊野町の今後のまちづくりに関するアンケート調査 調査結果

・本資料では、「熊野町の今後のまちづくりに関するアンケート調査」の自由記述の設問（問 7, 問 13, 問 29）の自由記述について、代表的な意見を掲載しています。（注：問 7 及び問 29 の 1. 概要の右側に記載している件数は、項目に関連した内容の件数です。記入者数とは、一致しません。）

【問 7】 上記（問 6）の内容で最も不便・不安を感じることを具体的にお聞かせください。（自由記述）

1. 概要

- (1) 「公共交通（路線バス）が不便」に関連するもの【188 件】
- (2) 「日常生活に必要なお店が十分でない」に関連するもの【24 件】
- (3) 「高齢者・障がい者のための福祉施設が十分でない」に関連するもの【6 件】
- (4) 「子育てや教育のための施設が十分でない」に関連するもの【9 件】
- (5) 「商店街などの賑わいが少ない」に関連するもの【10 件】
- (6) 「土砂災害や浸水などの危険性が高い」に関連するもの【32 件】
- (7) 「文化・芸術などにふれられる施設が十分でない」に関連するもの【4 件】
- (8) 「空き家や空き地が多い」に関連するもの【12 件】
- (9) 「交通渋滞や事故が多い」に関連するもの【163 件】
- (10) 「バリアフリー環境が十分ではない」に関連するもの【5 件】
- (11) 「スポーツや健康増進のための施設が十分でない」] に関連するもの【13 件】
- (12) 「公園や憩いの場となる広場などが十分でない」に関連するもの【8 件】
- (13) 「救急医療や入院できる病院が近くにない」に関連するもの【95 件】
- (14) 「働ける場所（雇用の場）が近くにない」に関連するもの【7 件】
- (15) 「その他」に関連するもの」に関連するもの【24 件】

2. 内容

(1) 「公共交通（路線バス）が不便」に関連するもの

- ・萩原から出るバスが少ない為、営業所迄行かなくてはいけない。萩原迄帰るバスが少ない為営業所から歩かなければならない
- ・公共交通が不便…バス利用者のための無料駐車場が閉鎖され広島市内に自家用車で出るしかなくなった。（自宅からバスに乗るのは不便）
- ・町外の病院や公共施設へのアクセスが悪い。
- ・阿戸線が廃線になり、営業所まで直通で行かれる便がなくなった。
- ・今、公共交通機関を利用する事はないが、車が乗れない状態になった時、特に不安を感じる。
- ・おでかけ号の便が少ない。おでかけ号満車で 3 回乗れませんでした。広電との便が交互にあればよい。
- ・熊野筆の里工房までが不便
- ・公共交通が不便で子供の通学が将来心配、又老後車が乗れなくなった時も不安
- ・最終便が早すぎる。時間帯によっては乗客が多すぎて座れない

(2)「日常生活に必要なお店が十分でない」に関連するもの

- ・家の近くに歩いていけるお店がない
- ・飲食出来る店がほとんど無い。活気に欠く

(3)「高齢者・障がい者のための福祉施設が十分でない」に関連するもの

- ・高齢者施設の利用状況がわかりにくい
- ・障がい者の入所施設がない。

(4)「子育てや教育のための施設が十分でない」に関連するもの

- ・学校給食が無い事
- ・保育園の待機児童

(5)「商店街などの賑わいが少ない」に関連するもの

- ・夜間利用できる飲食店が無い。ファーストフード店が無い。
- ・人が減ってシャッター街が多くなっている。
- ・食関係に不便を感じます。

(6)「土砂災害や浸水などの危険性が高い」に関連するもの

- ・自宅近くで土砂災害があり、将来自宅も被災するのではないかと不安を感じる。
- ・雨・風が強い時、横の法面の崩れ、神社の木の倒れが心配（過去、木が倒れた）
- ・大雨が降ると川の氾濫が心配。
- ・豪雨になった時点で避難を要されること
- ・災害の時期が怖いです。
- ・土砂災害対策をしっかり行って、避難しなくても良い様にしてほしい！！

(7)「文化・芸術などにふれられる施設が十分でない」に関連するもの

- ・文化・スポーツ・教育の更なる充実が必要（予算の増額等）
- ・筆の里工房等、催しものがあるけど行きづらく（遠くて）、料金も高くて。もっと多くの人が気軽に行ける様になると良いと思います。

(8)「空き家や空き地が多い」に関連するもの

- ・空き家を持っているが、建物を壊すのに費用がかかるし、どうすればよいか悩んでいる
- ・新しい家やアパートばかり建ち空き家を何とか活用する事を考えて！
- ・農地が少しずつ草むらに変化していくことは悲しい。

(9)「交通渋滞や事故が多い」に関連するもの

- ・朝、時間通りにバスがくることなく日々出勤時刻が定まらない。（10～30分の遅延）
- ・朝、平谷方面への右折レーンから直進レーンへの割り込みが多く危険
- ・朝・夕の交通渋滞がひどい（町役場付近、熊野トンネル前）、大型トラックの通行が多く危険
- ・道路の幅が狭く、離合困難な箇所が多過ぎる。歩道も十分に確保できていない上に道路ギリギリに建物を建てるため、見通しが非常に悪くなっている。
- ・道路幅がせまくて不便

(10)「バリアフリー環境が十分ではない」に関連するもの

- ・路線バス、バリアフリーでない
- ・高齢者が歩きづらい歩道や、乗り降りが危険なバス停があるのでバリアフリー環境を整えて欲しい。

(11)「スポーツや健康増進のための施設が十分でない」に関連するもの

- ・気軽に通えるスポーツジムがもっと欲しい（健康増進の為）
- ・健康増進のためウォーキングをしています。歩道が狭くて恐怖を感じます。もっと安全な遊歩道があれば…と思います。

(12)「公園や憩いの場となる広場などが十分でない」に関連するもの

- ・小さな子供がいる家庭で、公園や憩いの場が近くにない為、安心して遊べる広場があると嬉しく思う。
- ・高齢者のための公園が無い（欲しい）、公共の農園が欲しい
- ・旧道を歩く際、歩道が少ない為子連れだと怖く、近所に公園がない

(13)「救急医療や入院できる病院が近くにない」に関連するもの

- ・朝・夕の渋滞時、救急搬送に時間がかかるので、近隣に救急対応の可能な病院が必要だと思います。入院は広島・呉でも良い
- ・歩いて行ける病院が近くにない
- ・医療機関の先生は高齢の方が多く、心配である。
- ・救急医療が近くになく、救急での医療が必要な場合病院が呉市か坂町まで行かないといけないので不安。
- ・子どもが小さいので救急医療など大きい病院がないと不安です。
- ・産科、小児科などの病院が少ない
- ・入院できる病院が近くにない
- ・リハビリ等を受けられる施設がない
- ・脳神経外科がない。
- ・産婦人科が少ない。

(14)「働ける場所（雇用の場）が近くにない」に関連するもの

- ・若者の雇用の場が少ないこと（若者達の事が心配）
- ・雇用の場が少ない為、子供の迎え等を考えると通勤時間で就職先が限られてしまう。
- ・大きな企業や工場がなく、町外に通勤するようになる為、朝の渋滞も多い。

(15)「その他の不便・不安」に関連するもの

- ・24時間営業の飲食店がない。
- ・小学生、中学生、老人が歩いていて、車の運転があぶない。とにかく道路がせまい。
- ・街灯が少ないため、夜歩くのが怖いです。

【問 13】 20 年後を想定した場合、あなたは熊野町でどのような暮らしをしたいと思いますか。（自由記述）

記入例：「徒歩圏内で必要な生活サービスがある」 暮らし

-
- ・ 20 年後想定できない
 - ・ 20 年後にはもうこの世にいないかも知れない
 - ・ 20 年後は住めません。
 - ・ 65 歳になったら免許を返納します。徒歩やマイクロバスで必要な生活サービスがある
 - ・ 80 才ですので、20 年後は分からないけど。楽しく過ごせる事願います。
 - ・ AI の力を借りながら、アニマルロボットと今日生きられる幸せに感謝しています。1 本の草取り奉仕ができれば最高です。
 - ・ JR などとつながって交通便が良い。1 日のストレスのはっさんの場、イベントがある
 - ・ 雨の時に逃げなくても良い
 - ・ 歩いて行ける範囲内に生活に必要な場所がそろっている
 - ・ 安心安全な環境で暮したい
 - ・ 安心して老後が暮らせる場所
 - ・ 今以上に住み良い町になっている
 - ・ 今が幸せなので考えがつかない
 - ・ 今と変わらない生活がしたい
 - ・ 医療が充実した町
 - ・ 介護施設が充実していること
 - ・ 買い物や診療などの生活サービスの充実
 - ・ 熊野町で暮らしたくない
 - ・ 車がなくても生活できる暮らし
 - ・ 元気でいれば野菜作りをしていく
 - ・ 交通渋滞の緩和や交通事故がない
 - ・ 高齢者が住みやすい
 - ・ 子育てのしやすい
 - ・ 災害による被害がなく、治安が良い
 - ・ 四季ごとの祭りがあり、町に活気がある
 - ・ 自然にふれやすい。商業施設が多くあり、熊野町だけで完結できる
 - ・ 生活サービス（スーパー、病院）が近くにあり、交通渋滞の少ない
 - ・ 低所得でも安心して受けられる医療とデイサービス受けれたらいいと思う。
 - ・ 定年後でも働ける仕事があるような暮らしがしたい
 - ・ 徒歩圏内で必要な生活サービスがある
 - ・ バスの便が悪いので、もっと充実した交通手段
 - ・ 広島市、呉市、東広島市の中心部へ鉄道で気軽にアクセスできる
 - ・ 福祉が充実した安心して生活できる
 - ・ 老後を安心してゆっくり過ごせる

【問 29】 その他、これからのまちづくりについて、ご意見・ご提案などがあればお聞かせください。

(自由記述)

1. 概要

- (1) 公共交通などの移動手段、移動性（アクセス性）に関するご意見【178件】
- (2) 狭隘道路や歩道整備、防災対策などに関するご意見【86件】
- (3) 生活サービスや都市機能立地、公園整備等に関するご意見【90件】
- (4) 空き家や空き地、休耕田に関するご意見【19件】
- (5) その他、町行政に係るご意見【69件】
- (6) 今後のまちづくりに関するご提案【218件】
- (7) その他のご意見・ご感想【42件】

2. 内容

(1) 公共交通などの移動手段、移動性（アクセス性）に関するご意見

病院や役場等へ行く時に、車がないと難しい地域があるので、運賃は支払ってもいいので、もっとしっかり循環バスを充実して欲しい。施設の利用時間に合わせて移動出来る様に考えて欲しい。週に1度や2度だけでなく、毎日運行してほしい。呉市では、市民バスとして団地をこまめに巡回しています。良い事は参考にして町内に取り入れて欲しい。

熊野トンネル付近の朝、夕の渋滞が困る。道を作る前に家が増えると渋滞がひどくなるのではないかと車の運転ができなくなった場合には、市内へ引っ越す予定である。(車が運転できなくなったら熊野町では暮らせない。)

今は生活上困った事は無いが、20年後は絶対に困るであろう。病院が少ない。歩いて買い物ができる所がない。バスの便が減り、公共交通機関の利用が難しい。病院がなく、買物等に困らなければ何とか穏やかな生活が送れると思う。

自分はまだ車の運転をするが一人暮らしの高齢者や免許を持っていない人にとって暮らしやすくあって欲しいと思います。県外からUターンで熊野に来ましたがJR最寄り駅までのアクセスが悪いのが不便に感じます。通勤はともかく通学の方はどのような状況なのかなと思います。城之堀地区は今のところ買い物には便利で不自由はありませんが、初神地区のお年寄りは不自由なのではないかと心配しています。

私の住んでいる地域は特に高齢化が進んでいて、近所にも同世代の人がいません。町外から主人の実家へ嫁いで来ましたが、子供が伸び伸びと育ってくれた事は良かったですが、その子供が大人になっても熊野に住みたいと思うか？という、そうではないと思います。熊野の中でも、一部の地域は便利になり、人も集まって住みやすくなっていると思いますが、少し外れた地域や奥の地域になると、(今は車が運転できるのでいいですが)公共交通の不便・病院・スーパーなど生活に重要な事がとても不便だし、不便だと人も集まらず、将来、家族も近所でさえ誰も居ないのでは・・・と不安で仕方ありません。

西日本豪雨の時もそうであったが、町内の渋滞をどうにかしてほしい。朝夕の通勤ラッシュ時は、ひどいと思います。人々が動く為に交通機関や通路などを改善していけば、熊野町は便利なところだと、移住者も増加していくのではないかと思います。

通勤時間帯の交通渋滞を早急に減らしてほしい。このような状況で、事故や病気等で救急車が出動しても、病院に運ぶのに、時間がかかり、助かる命も助からない。パトカーや消防等出動しても、目的地まで時間がかかりすぎてしまい痛みをなさない。早急に主要道路の交通渋滞を緩和させる必要がある。国や県、町が買い取り、提供できるようでない、話しが先には進まないと思う。

(2) 狭隘道路や歩道整備、防災対策などに関するご意見

10年前に引っ越して来て、歩道の狭さ、無さに驚きました。子供が成長した今、公共交通の不便さに悩まされています。町内での防災施設、公共施設は充分だと考えますが、そこへたどり着くまでの手段が不便です。災害時、安全な道を通って徒歩で避難する事を考えると不安です。日頃から安全なルートを使う機会がありません。

以前、柿迫から役場の上まで、電動シルバーカーで行こうとした時、おか半の筋を走行していて、ふでのオブジェ辺りから道幅が狭くなり、仕方なく郵便局側に行き走行していたら、ローソンから下り坂の道のど真ん中に電柱があり、前に進むことができませんでした。ベビーカーの方も危ない道でしょうね。歩行者にも安全に歩ける道を作ってください。他にもたくさん危ない道があると思うので、調査して素晴らしい熊野の町に！お願いします。

熊野町の住みやすさは車を所有している事が前提です。これからの高齢化に向けて、徒歩圏内で不便なく生活できる事ができなければ人は流出していく事になると思います。子育てはしやすい町ですが高齢者には優しくない町だと思います。歩道も狭く、電動車イスの方を見ていると気の毒になります。

新宮、初神の通学路になっている歩道の幅が狭く、中学生等重たい荷物を乗せて自転車で通行するのは、とても危険だと思う。大きなトラック等スピードを出して走行していて、その風圧で自転車を運転していると少しハンドルを取られそうになる。特に、初神のバッティングセンター付近の歩道がものすごく狭い場所がある。初神、新宮地区はバス等、交通の便が悪く、中高生等自転車で通学するしかないので、安全に自転車通学が出来るようなまちづくりをしてほしいです。

(3) 生活サービスや都市機能立地、公園整備等に関するご意見

黒瀬を含む東広島市や焼山を含む呉や広島に子供と一緒に遊びに行く。大型遊具を含む大きな公園はありますが、熊野町にはありません。大型遊具はふでりん公園（西防災交流センター）のみ、深原公園は少ない遊具。町民グラウンドは許可制。駐車場を多く有した大型遊具を含む、大きな公園の整備を要望します。（焼山公園、瀬野川公園、龍王山総合公園の様な公園が良いと考えます）これからの時代を担う子供

達を中心とした町づくりをしないと未来はないと思います。

保育園給食はとても安心できるのに、小学校になると給食ではなくなると聞いて「可哀想だな」と思います。せめて小学校までは学校給食であって欲しいと思う。仕事終わり等、夜ご飯を簡単に済ませたい時に、チェーン店やテイクアウトできるお店が欲しい。熊野で大人が遊ぶ時に、分かりやすい所にカフェがない。集れる場所が欲しい。大きな商業施設が出来たら嬉しい。広島や西条、呉まで行かなくても熊野町で、買い物～遊び、ご飯が済むと車でなく、バスや自転車で行けるのでありがたい。

ずっと熊野に住んでいて、はっきりと熊野が好きと言えます。本当に住むのには良い場所だと思います。特に近年はハローズ等が出来て、熊野内で買い物がすべて出来る様になり、もっと便利になり、より熊野が大好きです。良い病院がないと思う以外は特に困ることはありません。クーポンも何度も町民にプレゼントして頂いたり、とても幸せだな、ありがたいなと思います。子育て施設やサービスが充実してきていて自慢の故郷です。

熊野町には「マクドナルド」「モスバーガー」等があれば良いな～と思う。利用出来る年代層が多く成ると思う。病院も歯医者は多くあるが内科医が少なく、その内内科医の先生も辞められる年代に成って来るのでは。年齢の高い人ほど呉方面、坂方面の病院に行っておられる様に思う。免許を返納すると便利が悪く成る。バスも少なく成って来ているし…年寄りには暮らし難い町に成って来ると思います。

(4) 空き家や空き地、休耕田に関するご意見

この所、人口減少しているにもかかわらず世帯だけ増加しているのはなぜなのか？新築分譲は増えているが、空家対策は全く出来ていないのではないですか。空家をうめる方策を考え、空家バンク等認知してほしい。熊野町は自然豊かですごく良いと思っていましたが、良き無くなりつつあるのは残念に思います。

空家、空地、休耕田等々、雑草で覆われ野獣の巣になっている荒地をよく見かけます。町の方で何か活用していただく策をご検討いただけないでしょうか。町の中心部以外にも目を向けていただきたい。

・農道や里道の草刈り、耕作放棄地が増えるにつれて負担が増えています。昔は住民の多くが田畑を耕作して、道を通り、お互い様で、草刈りもしていたと思います。農業で赤字の上、耕作放棄地が多く、次の世代では誰もなくなるのではないのでしょうか？

(5) その他、町行政に係るご意見

これから先の20年、30年を考える事も大事ですが、そのためには「熊野に住み続けたい」と思える街であってほしいと考えます。高額な水道代（農地用は安いと聞いてますか）もその1つで、本当に何とかしてほしいです。

ここ数年、川の掃除が行われていません。高齢化が進んで川の中に入る事が出来ないので、役場にお願いしていますが、中々行われていません。川の中には、風に飛ばされた色々な物が飛んできます。ゴミのおかげで、川の水量が増えて恐いです。

町の債務が増えて財政を圧迫している。少子高齢化の中で、人口も減少している。箱物や公園など、維持管理に経費がかかる物件は必要最小限に止めるべきである。国の財政破綻しており、県、町も、これ以上債務が増えないように努力をし、健全財政を目指すべきである。

学校給食も一括でセンターを作り高齢者施設の食事と一緒に作れば、子ども達が美味しくないとっている弁当給食ではなくなるのではないですか？食缶が届く、美味しい給食を食べさせたいです。給食センターを作れば、町内で働けるようになる子育て世代の人も助かり、外から働きに来てくれる人も増えれば熊野町の活性化にも少しは影響があるのではないですか？

(6) 今後のまちづくりに関するご提案

住み良いまちづくりには、若い世代に魅力のある町であるべきと思います。私が暮らしている場所は、若い世代の方が望んで来られているようです。その要因は働く場所の事より、子育てを重視されている様に思われます。その点もよく検討して頂いて、都市計画を大きな視点で捉えて大きな動きを希望します。今一番検討してもらいたいのは、子供が安心して通園・通学が出来、思いっきり遊べる場所（公園等）を計画的に進めてもらいたい。

これからのまちづくりについて考えられるのは大変良いことと思われます。が、少子高齢化のこの時代に若い世代や子育て世代をもっと増やすことにより、たくさんの利益が生まれると思います。（税収入や活気など・・・）この若い世代を増やすためにもっと出来る事をして欲しいです。給食センターがない町に親は転入させようとは思わないし、スーパーばかり増やすなら、これからの時代を作っていく子供たちにもっと投資をして欲しい。かけた分きつとリターンが有ると思います。あとはこの”熊野町”の町の良さを何かもっとわかりやすく（筆だけでなくもっと他に良いところがあると思います）アピールするべき時代だと思います。

近隣で大学の若者新たなひらめきを持った若者が求めている。やりぬきたい事の為に聞く場所を設け、意見と若者の心をつかんで下さい。若者が自分の力を皆で合わせられる施設を熊野にドーンと！！学びの場を設置して下さい。熊野町だけでは若者が逃げます。給料が安すぎます。※木や竹を利用した、製品につなげて下さい。野山が荒れません。近隣のトラブルを避けたいです。

熊野町も少子高齢化が進んでおり、高齢者に対する充実した制度も必要であると思うが、熊野町でずっと暮らして生きたいと若者に思ってもらうことも重要なのではないかと考える。そのため若者に対して、熊野町の魅力をインスタ・Twitter等のSNSを活用し伝えていくことで、熊野町に足を運んでもらい「この町に住みたいな」と思ってもらう工夫や、住み慣れた人がこの町に貢献していきたいと思ってもらえ

ることが大事なのではないかと考えた。

そう思ってもらうための方法として、私は「空き店舗や空き家を利用した起業」を提案したい。なぜなら、尾道に行った際このようなことを行っており、尾道の魅力や観光の名所を多くの若者が撮り投稿していた。この投稿を見た一人の夫婦が空き家を探し、尾道に住みカフェを営み、多くの若者をまた集めているという現状があることを知った。なので熊野町も空き家を使った事業を行い、若者が移住したいと思ってもらえる政策を行えば、熊野町の少子高齢化が抑えられ、活気溢れる町になっていくのではないかと考えた。

施設づくりは、例えば生活する中で、自然とさまざまな人々が世代を超えて出会えるような場所が工夫されると良いと思います。世代を超えて利用するものに図書館やスポーツ施設、郷土館、高齢でも特技や趣味のある方のユニークな講座やワークショップが出来る施設など、その他にも、小・中・高の生徒などにも考えてもらえば、おもしろそうなアイデアが出そうです。

コンパクト都市拠点として中央部中心に生活機能を集約することには理解できるが、東西地域のみにはほぼ同等の機能・施設を配置し、南北地域は冷遇され特に呉地地域は各施設までの距離が遠い地域が多く、交通の便が悪い地域も多い。せめて地域コミュニティの核となる施設（公民館・出張所・公園など）は最低限整備してほしい。

私が住んでいる新宮という地域は高齢者が非常に多く、10～30代世代がほとんどいないため、今後は町内の別地域または他市町への引っ越しを考えております。少子高齢化の歯止めが効かなくなる将来、町自体をコンパクトにしてある程度の地域の選別が必要と考えます。投資する価値があるか否かを考え、意味のある町づくりをお願い致します。

(7) その他のご意見・ご感想

アンケートの結果を知りたい。ホームページではなく町広報等で知りたい。

生まれてずっと住んでいましたが、20代の頃は一度離れ、結婚・出産後また熊野に住みたいと思いましたが、これからも住んでいきたいと思っているので頑張ってください。

この書類を何度も何度も読み返しました、一行一行の文章に熊野町が将来の事を考えられ、都市構造の再構築をされようとされる思いが、私にも一杯、伝わってきました。そして将来の熊野町が夢のような熊野町が色々と想像され、その時には私はもういないかもしれませんが、そういう事に携わるアンケートに参加出来た事がうれしいです。都市機能の維持、集積を図る事で、本当に便利に成り、それに基づいて、地域公共交通ネットワークを結ぶ事。それは人口が増え、商業、観光と栄え、人が熊野に住みたい。若い人がどんどん増えていく事。そして子供さんが増える事。そうする事で、交通ネットワークも、もっと便利にして戴く事。今迄の自然も大切に残すこと。等々沢山ありますが、それに向けて熊野町が走っている事。本当に、うれしく、楽しみです。